

に連
稲尾
ヨナラ
兼、仏
ま大喜

益田 浜田 江津 大田

吉賀 津和野 邑南 川本 美郷

江津中校歌 60年前作詞の生徒

校歌の歌詞が掲げられた体育館であいさつする津田仁作さん



校歌

作詞 津田 仁作
作曲 後藤 忠雄

一、清き心の若人は
希望の岸とのぞみつつ
自主の權を押し清き行かん
江中健児の誇りもて

二、我等の結びいや固く
共に手とどり進まん
嵐に耐うる波松ぞ
江中健児の愛敬ぞ

三、高き理想を抱きつつ
強き体軀を鍛えん
江の流氷の量かさよ
江中健児の意気高し

昭和14年度卒業記念

創立六十一年目を迎えた江津市江津町の江津中学校の校歌を、同校の生徒時代に作詞した津田仁作さん(75)「愛知県春日井市」と同級生二十人が二十日、母校を訪ねた。長年歌い継がれてきた歌詞が、当時の生徒の作だったと知る人は少なく、一行と在校生、教職員らが感慨を込めて合唱した。

母校訪ね後輩と合唱

愛知の津田さん(75)



校歌を合唱する2期生と全校生徒、教職員

誕生秘話披露 「努力忘れないで」

津田さんたちは、戦後の学制改革に伴い誕生した江津中で、二年生から新しい学校生活を始めた二期生。当時はまだ校歌がなく、三のとき学校から生徒に作

津田さんたちは、戦後の詞の課題が出され、採用された津田さんの作品に専門家が曲をつけた。

津田さんは高校卒業後は愛知県で生活し、十九日に同市で開かれた三年ぶりの川や防風林を歌詞に盛り

津田さんは、校区内の江津中校を訪ね、同校の生徒時代に作られた校歌の歌詞が掲げられた体育館であいさつした。

一行は体育館で全校生徒、教職員と対面。岡隆夫校長が「校歌には元氣と勇氣をもらってきたが、作詞のいきさつは知らなかった」と話した。

津田さんは、校区内の江津中校を訪ね、同校の生徒時代に作られた校歌の歌詞が掲げられた体育館であいさつした。

込み「江中健児の誇りもて」などどつづった歌詞について「校歌のない卒業生には、なりたくなかった。歌詞には、やれば何でもできる」という思いなどを込めた。皆さんも努力を忘れないで」と語り掛けた。

吹奏楽部の校歌演奏に耳を傾け、生徒会長の野村維君(三年)のピアノ伴奏で全員が合唱。生徒会議長の島田直人君(同)が「(来春から)校舎が変わっても大切に歌っていきたい」と述べた。津田さんは「感慨無量」と喜んだ。

五度目の同窓会に参加した。